あきる野市生涯学習推進計画（あきる野学びプラン5）（案）に対する質問・意見

No.	ページ	意見等	回答（反映）	備考
1	目次	第3章　計画の基本理念等 ⇒「あきる野学びプラン5」の概要	反映します。	
2	1	（1）国の動向　2行目 「第4期教育振興基本計画」（令和5（2023）年度から令和9（2027）年度まで）においては、「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」などを基本に、働き方や・・・	反映します。	
3	1	（2）東京都の動向　1行目 東京都は、「東京都教育ビジョン（第5次）」（令和6（2024）年度から令和10（2028）年度まで）において、「学校、家庭、地域、区市町村、関係機関等、皆で力を合わせて実行力のある施策・取組を推進」し、「誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育」の実現を図ることが示されております。そのため、生涯にわたる学びを・・・	反映します。	
4	1	（3）市の動向　1行目 「第2次あきる野市総合計画」（令和4（2022）年度から令和13（2031）年度まで、以下「総合計画」という。）では、・・・	反映します。	
5	6	6 計画の体系図 メイン計画「あきる野市生涯学習推進計画　あきる野学びプラン5」を強調する。ゴシックや塗り色など。	反映します。	
6	8	ア 現状　1行目 市が行う施策の「満足」「まあ満足」の回答・・・	反映します。	
7	8	ア 現状　8行目 学びプラン4の策定時において、市が行う生涯学習施策への興味が薄い・・・	反映します。	
8	8	イ 課題　1行目 生涯学習に参画されている方の満足度の向上、生涯学習の裾野を広げる取組や市民ニーズの把握については、引き続き推進する必要があります。多摩地域のある市の「生涯学習をしたことのない」と答えた市民への調査（令和5年度）結果では、「今後学んでみたい生涯学習がある」と答えた市民は82%（ないと答えた市民は18%となっています。「生涯学習」とはどのような・・・	反映します。	
9	10	ア 現状　7行目 多くの方が生涯学習推進の~~施策~~重要性には関心を持っていることが考察できます。「生涯学習の推進」に関して、その範囲は（1）趣味的なもの（2）教養的なもの（3）社会問題に関するもの（4）健康・スポーツ（5）家庭生活に役立つ技能（6）子育て・教育に役立つもの（7）職業上必要な知識・技能（8）情報端末やインターネットに関すること（9）ボランティア活動のために必要な知識・技能（10）自然体験や生活体験などの体験活動（11）学校の正規課程での学習など、様々な分野で提供・推進されています。	反映します。	
10	14	第3章　計画の基本理念等 ⇒「あきる野学びプラン5」の概要	反映します。	
11	14	5行目 ・・・につながるという生涯学習社会の実現に向けての考え方を示すものです。	反映します。	
12	14	基本目標で「（3）創る」「（4）育む」としているので、基本方針の順番も「（4）学びを創る」「（5）学びをつなぐ」とすると整合が取れるのではないかと思います。	計画全体の整合を考慮し、反映について検討します。	

13	17	2 あいさつ運動の推進　目的　4行目 「あいさつ」の重要性を啓発します。	反映します。	
14	18	3 地域と連携した学校づくりの推進と地域体験学習の促進　目的　3行目 その活動~~を~~が円滑に実施できるよう支援します。	反映します。	
15	18	3 地域と連携した学校づくりの推進と地域体験学習の促進　内容　6行目 部活動~~（文化系）~~の円滑な地域移行への支援	部活動の地域移行については、スポーツ系をスポーツ推進計画で取り組んでいるため、生涯学習分野では文化系を推進します。このため、（文化系）の文言は掲載させていただきます。そのほかの指摘事項は反映します。	
16	18	3 地域と連携した学校づくりの推進と地域体験学習の促進　内容　7行目 職場体験学習の~~実施~~支援	反映します。	
17	20	6 放課後子ども対策事業の推進　目的　2行目 ・・・環境~~を~~の構築を支援します。	反映します。	
18	21	7 ICT講習会の実施　目的　1行目 生涯学習に参画できる~~場~~環境を創出します。	反映します。	
19	22	12 市民活動推進のための学習機会の創出　目的 東京都などと連携して、NPO等・・・	現状では、東京都との連携はありませんので、文言の追記は見送ります。	
20	32	2 進捗状況の管理　1行目 本計画の範囲は、横断的な取組として他の個別計画等が進める多岐にわたる生涯学習関連事業も対象になりますが、他の個別計画等に掲げられている事業の進捗管理は各計画の中で行うことになります。なお、本計画・・・	反映します。	
21		アンケートを見ると年齢層で認識に差があるようです。 また、本計画では4つの基本目標（学ぶ・生かす・創る・育む）を掲げております。今回計30の施策を展開いたします。 それぞれの施策に関して上記の「主にどういった年齢層をターゲットにしているか」「どの基本目標（4つ）を目指しているか」が明示できると（紐づけられると）、個々の施策の座標軸が定まり、「重点度」「効果の評価」といったものが把握しやすくなるような気がいたします。 例えば　施策1であれば「～19」「学ぶ」、施策9であれば「～19」～「70～」「学ぶ・創る」、施策9であれば「60～64」～「70～」「創る」	・年齢層の明示について 今回設定した各施策については、いつでも、どこでも、誰もが学ぶことができる環境づくりを主軸として設定しております。そのため、各施策のターゲットは年齢などで限定されないようにしたいと考えております。施策によっては、受け手（読み手）にある程度のターゲット年齢が読み取れる施策もございますが、施策ごとにターゲット年齢層は表示しないようにいたします。 ・目指す基本目標の明示について 今回設定した各施策は基本目標の達成に向けて推進していくことになりますが、基本目標である「学ぶ」「生かす」「創る」「育む」は、それぞれ独立しているものではないと考えております。各施策の推進はこれら4つの基本目標全ての達成につながるものとしておりますので、施策と基本目標個別の紐付けはしないようにいたします。	
22		学びプラン4と比較して、大きな変更があまり見られないのですが、今回の学びプラン5で最も重要な政策は何であるとお考えでしょうか。	生涯学習推進計画において、現行計画である学びプラン4に掲載していた各種施策は今後も継続して取り組んでいくこととしております。その上で、社会情勢などを鑑み新たな要素を取り入れております。また、同時期に改定する本計画の上位計画である「あきる野市教育基本計画（第4次計画）」との整合を図った施策を展開します。 全てが重要な政策と考えておりますが、新たに追加した「事業3　コミュニティスクールと連携した地域学校協働活動推進事業の実施・部活動（文化系）の地域移行の推進」「地域でリーダーとなりうる人材の育成支援」は特に重要と考えています。	
23		近年課題とされている、子供たちおけるスポーツや文化芸術体験の格差について、特に触れられていないのですが、それについてはどのような検討がなされたでしょうか。	スポーツ分野における子どもたちへの取組については、スポーツ推進計画で取り組む事業として推進していきます。 文化芸術においては、施策・事業名に体験格差という文言は明記しておりませんが、「事業17　芸術家の育成と芸術文化振興の促進」の中で、アーティスト・イン・レジデンス事業での子どもたちを対象としたワークショップの開催や、秋川キララホールの事業として子どもたちを対象とした事業の展開を指定管理者と連携して実施するなどの取組を行ってまいります。これらの事業実施により体験格差の解消に寄与すると考えております。	

24		生涯学習推進本部幹事会において、現在のあきる野市の生涯学習活動推進において、特に課題として挙げられていることは何でしょうか。	計画本編P7～13で記載している課題については、生涯学習推進本部幹事会での検討内容を反映しております。P33で記載している評価指標「1年の間に生涯学習をしたことのある市民の割合「80%以上」」を設定するに至った経緯からも、市民が「生涯学習」を身近に感じ、参画するハードルを低くすることが課題と考えております。	
25		生涯学習推進計画に含まれる文化芸術振興について、別途独立した計画を作成を検討する予定はありますでしょうか。	現在のところ独立した計画の策定の予定はございませんが、生涯学習推進市民会議においても芸術文化振興計画の策定についてご意見をいただいておりますので、引き続き研究してまいります。	